

専門職大学院評価基準モデル【分野共通事項】のフレーム（素案）

基準1 教育目的及び入学者選抜	基準2 教員組織	基準3 教育課程	基準4 教育の成果	基準5 施設・設備等の教育環境	基準6 教育の質の向上及び改善
《目的の明確性，適合性等》 目的の明確性 目的の内容と学校教育法第65条第2項との適合性 目的の周知，公表 《アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入》 アドミッション・ポリシーの明確性，公表・周知 アドミッション・ポリシーに沿った受入方法の採用 入試者選抜の公正な実施 《実入学者数と入学定員》 入学定員と実入学者数との関係，適正化に向けた取組	《教員の配置》 教員組織編制のための基本的方針と教員組織編成 教員の確保 専任教員のうち実務の経験を有する教員の割合 教育上主要と認められる科目における専任教員の配置 教員組織の活性化のための措置 《教員の採用及び昇格等》 教員の採用基準や昇格基準等の策定と適切な運用（教育上の指導能力の評価） 教員の教育活動に関する評価体制の整備等 《教育の目的を達成するための基礎となる研究活動等》 教育の目的を達成するための基礎となる研究活動の状況 専門職学位課程における理論と実務を架橋した教育を確立するための取組 《教育支援者の配置，教育補助者の活用》 事務職員，技術職員等の適切な配置・活用	《教育課程の適切性》 教育課程の体系的な編成 教育課程の編成の趣旨に沿った授業内容 教育課程や教育内容の水準と当該職業分野の期待との適合性 研究活動の成果あるいは実務の経験の授業内容への反映状況 単位の実質化への配慮 在籍する学生に配慮した適切な時間割の設定等 学生の多様なニーズ，学術の発展動向，社会からの要請等に対応した教育課程の編成への配慮 《授業形態，学習指導法等の整備》 講義，演習，実験，実習等の授業形態の組合せ・バランス，及び学習指導法の工夫 シラバスの適切性・活用状況 通信教育を行う場合の授業の実施方法の整備と指導の適切性 《成績評価，単位認定，修了認定》 成績評価基準や修了認定基準の策定，及び学生への周知 成績評価，単位認定，修了認定の適切性 成績評価等の正確性を担保するための措置（学生からの成績評価に関する申立て等）状況 修了の要件	《教育の目的に照らした教育の成果や効果》 単位取得，進級，修了の状況，資格取得の状況等から判断した教育の成果や効果 学生の授業評価結果等から判断した教育の効果 修了後の進路の状況等から判断した教育の成果や効果 修了生や就職先等の関係者からの意見聴取の結果から判断した教育の成果や効果	《教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備等の整備と有効活用》 教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備の整備・活用状況 自主的学習環境の整備・利用状況 施設・設備の運用に関する方針の明確化，及び構成員への周知 《図書等資料の系統的整備》 図書，学術雑誌，視聴覚資料その他教育研究上必要な資料の系統的整備・活用状況 《履修指導，学生相談，助産体制，生活支援等の学生支援》 履修指導体制，及び学習相談等の状況 通信教育を行う場合の学習支援，及び教育相談 学生の経済的支援及び学生生活に関する相談・助言，支援体制の整備 職業支援 《財政的基盤》 教育活動等を適切に実施するための財政的基礎 《管理運営体制及び事務組織の整備，機能状況》 管理運営のための組織及び事務組織の整備，及び職員の配置状況 教育活動等を適切に実施するための独自の運営の仕組み 効果的な意思決定が行える組織形態 学生，教員，事務職員等，その他学外関係者のニーズの把握，及び管理運営への反映状況 管理運営に関わる職員の資質の向上のための取組	《教員，教育支援者及び教育補助者に対する研修等，資質の向上を図るための取組》 ファカルティ・ディベロップメントの実施方法の適切性 ファカルティ・ディベロップメントの機能状況 教育支援者や教育補助者に対する教育活動の質の向上を図るための研修等 《教育の状況等を点検・評価し，その結果に基づき改善・向上を図るための体制整備，及び機能状況》 教育の状況等に関する活動の実態を示すデータや資料の適切な収集，及び蓄積 学生の意見の聴取と，自己点検・評価への反映 学外関係者の意見の自己点検・評価への反映 自己点検・評価結果の専門職大学院内及び社会への公開状況 評価結果を教育の質の向上，改善に結び付ける仕組みの整備と機能状況 評価結果に基づく個々の教員の質の向上，授業内容，教材，教授技術等の継続的改善状況